

## 世界レベルの技術を受講

2009世界陸上女子マラソン日本代表として活躍した加納由理さんによる陸上教室が11月4日、運動公園で開催されました。ゲスト参加する翌日の「なかうみマラソン全国大会」に合わせて開催され、子どもから大人まで約60人が参加しました。

肌寒い天候の中、ウォーミングアップを兼ねたストレッチやランでは、「普段使わない関節の可動域を広げるつもりで」などと加納さんがアドバイス。中学校陸上部に所属する西村浩志さん（1年生）は「普段の練習に取り入れていないストレッチがあり参考になりました」と話してくれました。



▲加納由理さん（左）から指導を受ける参加者。  
加納さんの父親は安来市出身です。

## やすぎ産みかんの スイーツできました

山陰唯一の観光みかん園「やすぎ観光みかん園」（恵乃島町）と洋菓子店「モンローネ」（安来町）が安来産ミカンを使ったスイーツを共同で開発し、販売を前に近藤市長へ報告しました。

今回開発したスイーツはスポンジやバタークリームなどにミカンの果汁を使ったガナッシュと、ゼリー、ソース、クリームにみかんの果汁100%を使用したまるごとゼリー。どちらも安来産ミカンがふんだんに使われている一品です。

スイーツを口にした近藤市長は、「ミカンの甘さがおいしさを引き立てている」と称賛しました。

モンローネの元田啓太さんは「おいしく安心して安全の安来産ミカンを使ったスイーツは、やさしい甘さで誰でも喜んでもらえると思う」と話していました。（12月中旬までの期間限定で販売されます）



まちの話題や出来事をご紹介します



人権フェスティバルで切川保育所の子どもたちが披露したどじょうすくい踊り。踊った後の自信に満ちあふれたキメ顔はなかなかのものでしたよ。

今月の一枚



- ▶安来産ミカンを使ったガナッシュ（右）とゼリー。
- ▼近藤市長（左）の元を訪れた、やすぎ観光みかん園の佐伯勝美さん（中）と元田さん。





▲一日人権擁護委員を務めた六子さん。

▼子どもの虐待防止ブースでは、各々が子どもたちへのメッセージを書き、ボードに貼り付けました。



## 個性や違いを尊重し平等な社会を

人権への理解と認識を深め、支え合う社会を築くため、人権フェスティバルが10月15日、安来市総合文化ホールアルテピアで開催されました。

会場では、ハンセン病やDV、幼児虐待などブースの出展や、体験型ワークショップが行われました。

この日、一日人権擁護委員を務めた歌手の六子さんは、「人権を守ることは違いを認め合い、互いに思いやる気持ちを持つこと。困っている人がいたら、勇気を出して話しかけてみよう」と来場者に呼び掛けていました。

## 清水寺の魅力をライトアップでクローズアップ

古刹清水寺の魅力を市内外の人知ってもらおうと10月14日・15日、清水寺灯参道が開催されました。

イベントの舞台は建築物や樹木などをライトアップした境内。荘厳な雰囲気の中、国内外の伝統的な音楽を演奏する根本堂ミニコンサートや清水地区



ゆかりの食の販売、伝説を聞きながら境内を巡るナイトウォークなど、様々な催しが行われ、来場者は初秋の夜の古刹を思い思いに楽しんでいました。

◀境内の建物や石垣、千年杉などがライトアップされました。

## 高校生企画の神在月まつり

情報科学高校の生徒たちによる「やすぎ神在月まつり」が10月22日にやすぎ懐古館一風亭で開催され多くの人でにぎわいました。

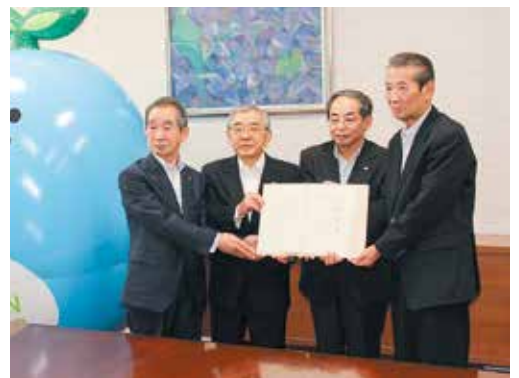
経理や販売、会計などを学ぶ生徒らは、自らが選んだ全国の商業高校などによるオリジナル商品を仕入れて販売。目にする事のない珍しい商品が並び、来場者は興味深く手に取っていました。

3年生の久保田七海さんは「全国からおいしいものを厳選した。商品がそろう情報ITフェア（12月2・3日）にも足を運んでほしい」と話していました。

▶販売も生徒が担当。商品の説明も丁寧に行いました。



▶調印式には左から近藤市長、溝口知事、日立金属安来製作所春代表取締役、しまね東部森林組合山尾組合長が出席。



## 市内の企業が森づくりに貢献

森林は水を貯えCO<sub>2</sub>を吸収するなど県民共有の財産です。この森づくりに企業の従業員が実際に参加する「しまね企業参加の森づくり」制度に、株式会社日立金属安来製作所が取り組むことになり10月27日、関係4団体で調印式が行われました。

この制度は、所有者から無償提供された森林を企業の従業員が植林やその後の下刈り作業などを行うもの。企業側は社会貢献の一環として取り組むこととなります。同社は市内鳥木町の0.26haの森林を「ハーモニーの森」と命名し、5年間保全活動を行います。11月下旬には広葉樹の植林が行われる予定です。